

2-3
FEBRUARY-MARCH

2014

延べ3万人に上る参加者を集めた 2013 年のジョホールの盆踊り大会<先輩に聞く! > Ms. CH'NG SOO BEE







2014年2-3月号第507号

目 次

2 巻頭

延べ3万人に上る参加者を集めた
2013年のジョホールの盆踊り大会 TANG CHEET YONG

8 Interview

先輩に聞く!

Ms. CH'NG SOO BEE (スービーさん) ~マレーシア

16 読者寄稿

気仙沼の復興 ~3年目を迎えて

20 コラム

泰日工業大学 奮闘記 (第4回) 高坂千夏子

22 レポート1

ボランティア日本語教室はこんなところ! ABK 留学生友の会 日本語クラブ

26 レポート2

合同企業説明会に参加しよう! ~ JOB 博を歩く

29 知友会通信

奨学金・イベント情報

32 MEMBERS

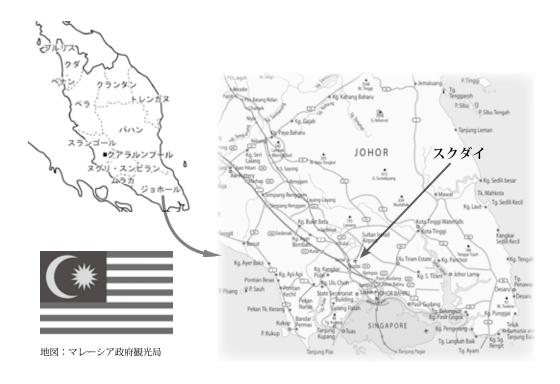
で入会、ご寄付のご報告(2013年12月、2014年1月)

<表紙> スルタン・アブ・バカール・モスク (マレーシア・ジョホールバル)

延べ3万人に上る参加者を集めた 2013年のジョホールの盆踊り大会

2013 年度日馬ふれあいフェスティバル実行委員会 事務局 - TANG CHEET YONG (タン チッ ヨン

昨年 10月の学校法人 ABK 学館日本語学校設立記念式典の日にアジア文化会館で座談会(『アジアにおける日本留学の意味を考える』:「アジアの友」12-1月 - 号に掲載)を開催しました。その席で、マレーシアから参加された Ng Kim Chai 氏から「帰国後、自国で日本の文化を紹介したりすることで、自国と日本との橋渡しをし、両国の友好関係の増進に寄与することも、日本に留学した外国人留学生の一つの大切な役割だ。」ということで、昨年10月、マレーシアのジョホールバルで開催された「盆踊り大会」の話が紹介されました。その「盆踊り大会」の実行委員会メンバーの元留学生からその「盆踊り大会」のレポートをお送りいただきましたので、ここにご紹介いたします。





ショッピングモールでの指導会(計6回実施)。写真はジョホール音頭の練習の様子

日馬ふれあいフェスティバル

日本では、盆踊りと言えば夏の大きなイベントであり、全国各地で開催されています。ご存知のようにマレーシアは通年夏ですが、実は、マレーシアでも北部のペナン、中部のクアラルンプール及び南部のジョホールの3都市ではかなり前から「盆踊り大会」が開催されています。

ここでは、ジョホールの「盆踊り大会」について書かせていただきます。ジョホールの「盆踊り大会」(別名:日馬ふれあいフェスティバル)は、マレーシア元留日学生協会(JAGAM: Japan Graduates' Association of Malaysia)南支部(JSB: JAGAM Southern Branch)の主催で1999年に初回がバトパハーで開催されました。その後2008年までジョホール日本人会主催、JSBの協力でジョホールバルで開催され、2009年から2012年までは、ジョホー

ル日本人会及び JSB の共催でおこなわれました。そして昨年の 2013 年は JSB の主催で、ジョホール日本領事館、ジョホール日本人会及びジョホール日本人学校の協力で初めてスクダイ (Skudai) のステラ (Sutera) で盛



宣伝用のポスター



盆踊り大会で、当日やぐらに上がった日本人とローカルの踊り子たち

大に開催されました。「盆踊り大会」実行委員会は、JSBの役員 15 名で構成され推進しました。

2013年の「盆踊り大会」は、初めてジョホール市内から離れた場所で開催するため、 事前に開催予定の広場に隣接するショッピングモールで、盆踊り大会の宣伝と踊りの 指導会を企画しました。開催前に、3週連 続して土曜日と日曜日に計6回の盆踊りの 指導会を催しました。当日の集客数を見る とこの事前の宣伝と指導会はとても宣伝効 果があったようです。

過去数年は、毎年ほとんど「盆踊り大会」の半年位前から準備を始めていました。まず4月末に実行委員会を発足します。そして2週に1回会議を開き、全体のスケジュールを始め、開催会場・日時の決定、ポスター、クーポン、チケット、Tシャツ、うちわなどのデザイン、寄付金・ラッキドロー景品の募集、出店の募集、会場レイアウト、プログラム計画などの議題について進めてき

ました。また、実行委員会は事務局、広報班、ケータリング班、会場班、ラッキドロー班と5つの班に分けて上記内容を分担していました。そして、開催日が近づくと会議の回数も毎週1回とより頻繁に行っていました。

ペナンやクアラルンプールと違って(注) ジョホールの過去の盆踊りは日本人会の4 月理事交代のため大体毎年の10月ごろに開 催されていました。しかし、10月開催です とジョホールは雨季に入っているため過去 の「盆踊り大会」は雨に降られた年が多く、



オリジナル団扇



餅つきは超大人気でした

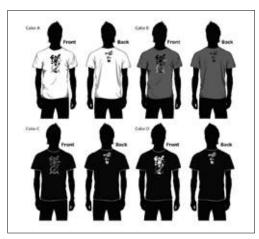
「雨の盆踊り」とのイメージが強かったです。 幸い、2013年10月に開催した15回目の「盆 踊り大会」は珍しく雨なしの晴天でした。 注:ペナンやクアラルンプールの盆踊りは 通常7月に行われています。

民族・宗教を問わない楽しみ

「盆踊り大会」では、回を重ねるに連れて徐々に定着してきたものが沢山あります。例えばその年その年の異なるデザインTシャツ、ポスター、うちわなどがあります。盆踊りはもちろんのこと『そうらん節』、その他にも餅つき、和太鼓、金魚すくい、綿菓子、輪投げなどが挙げられます。日本人も勿論大勢参加しますが、浴衣姿で参加する地元の人も年々増えています。盆踊り用の曲として『東京音頭』、『花笠音頭』、『炭坑節』、『ジョホール音頭』の4つの曲が毎年会場に流れ、みんなで踊ります。

2013 年には初めて午前 10 時から出店を

開始させました。メインプログラムの開始 時間は午後5時からでしたが、あまりにも 期待されていたため午前から来場される人 が多く、そのまま閉会まで会場にいた参加 者も大勢いました。プログラムには、2回 の餅つき、地元のヒップホップダンス・現 代ダンス、日本人学校の生徒による『そう らん節』、和太鼓、そして、ラッキドロー、 メインの4回の「盆踊り」などがありまし



クールなオリジナルTシャツも



時間を忘れて踊る参加者たち

た。特に、「盆踊り」はものすごく盛り上がりました。やぐらの上で熟練の踊り手が誘導し、やぐらの下に三重にもなる大きい輪ができ、「盆踊り」の曲に合わせて、やぐらの上の踊り手を見ながら参加者は楽しんで踊っていました。老若男女、マレーシアのマレー系、中華系、インド系3大民族、常駐の日本人・外国人、そして観光客までも加わった大勢の人々が、民族・宗教を問わず一緒に楽しみ賑わっていました。その時

のハーモニー・・・調和的な雰囲気に、私は一刻も長く続いてほしい、1人でも多くの人々にこの雰囲気を味わってほしいという気持ちで一杯になりました。

2013年には、参加者が集まりやすい人気のある新しい会場を選んだこと、実行委員会の努力とボランティアの協力、そして日本領事館、日本人会及び日本人学校の強力なサポートを得ることができ、来客数は記録を更新し、延3万人以上もの参加者を集

め、非常に素晴らしい成果を挙げることができました。この「盆踊り大会」は、地元の英字新聞、漢字新聞にも大きく取り上げられました。



ゲストの国会議員と実行委員のみなさん

盆踊り大会継続のをめの課題

最後に、大成功に終わった 2013年のマレーシア・ジョホー ルの「盆踊り大会」の今後ですが、 私個人としては、このような素 晴らしい文化的なイベントは是非毎年続けられたらと思います。しかし、この催しを実施するには膨大な費用と大勢の人の協力が不可欠です。費用の調達と大勢の人の確保が実行する上での大前提とな

ります。今後継続してゆく上では、この ことがいつも大きな課題となります。「盆 踊り大会」を催すためには、次の実行委 員会でもこのことが大いに頭を悩ませる ことになるでしょう。



地元英字、漢字新聞に『盆踊り大会』の盛況が大きく取り上げられ、「ジョホール音頭」や「日本文化」についても強調されました

先輩に聞く!

Ms. CH'NG SOO BEE (スービーさん) ~マレーシア

ABK 日本語コース 1991 年度生 青山学院大学 国際政治経済学部卒



バブル景気も終盤にさしかかっていた頃の日本に留学したスービーさんは大学入学後、大学の体育会系部活動の中でも特に厳しいと言われる空手部で4年間を過ごすという貴重な経験を持った元留学生だ。帰国後、政府の関連機関で働くスービーさんに日本留学の思い出や後輩へのアドバスについてお話いただいた。

―――日本に留学した理由を教えていただけますか。

私が高校生だった 1980 年代は、政府の プミプトラ政策の影響もあって、海外に留 学する中華系マレーシア人が増えた時でし た。それで私の伯母たちもカナダ、イギリ スに留学したんですが、帰国後仕事を探すのは簡単ではなかったのです。それを見て、私は留学するのなら就職に有利になる所へと考えていたのですが、当時は日系企業がマレーシアにどんどん進出している時で、新聞を開くと日系企業の求人がたくさん載っていて、給料も高い。応募の条件は日

本語が出来ることだったので、もし日本語をマスターできれば、就職の時に有利になるのではと思ったのです。また、私は英語で授業を行う私立高校に通っていたので、同級生は卒業後英語圏の国に留学する人がほとんどでした。ですから余計に違う方向に行くことに価値を感じて、日本に留学することに決めたのです。

―― 大学は青山学院(青学)に 入学したんですね。

91年の4月にABK日本語コースに入学して大学探しを始めたのですが、当時大変だったのは、就学年数のことでした。日本の大学に入るには12年の学校教育を終えていなければならないのですが、マレーシアでは高校までが11年しかありません。そのため、高校卒業後1年間カレッジに通ったのですが、日本の国立大学ではその1年を認めてくれなくて、願書を受付けてもらえないということでした。それで、ABKの先生方がいろいろな私立大学に問い合わせてくれたのですが、最初にOKと言われたのが青学だったんです。それでその年の9月に受験をして合格できたので、入学を決めました。

―― 大学では部活動、しかも空手部に所属していたそうですね。

マレーシアで空手を習っていたことも



空手部の同級生と

あって、日本で武道を習いたいとは思っていました。実は本場で習えば憧れの忍者に会えるかも知れないと本気で考えていたんです(笑)。そして、大学のクラブ活動勧誘会で興味を持った合気道部に入部することに決めました。ところが体育館での練習の時、合気道部の隣が空手部だったため、空手を続けたいという気持ちが日に日に強くなっていったんです。合気道部は先輩がすごくやさしくて女性部員も多く居心地が良かったのですが、両方に所属することは出来ないと言われて、結局合気道部をやめて、空手部に入部し直しました。

ところが空手部は本格的な体育会系で、 合気道部とは比較にならないほど厳しいと ころでした。女子部員が私一人だけなのは わかっていたのですが、大学の制服を着て 学校に通わなければいけませんし、練習の 二時間前には道場に行っていないといけな い。稽古は火曜日から日曜日までで、休み は月曜だけ。私はキャンパスも住居も本厚 木だったのですが、週の半分は渋谷 キャンパスで練習ですから、授業が 終わるとバスに飛び乗って表参道駅 まで向かい、駅から道場まで1秒で も早く着くように必死で走るんです。 日本に留学して何でこんなことをし ているんだろうと悲しくなる時もあ りました(笑)。

特に制服での通学はどうしても納得できなくて、心の葛藤がありましたね。同級生の子は「チームだから」と説明してくれるのですが、私はその意味が初めは理解できませんでした。ところが2年目に女子部員が2人入ってきたことで、徐々に先輩としての自覚が出てきたようで、日本人の考えるチームの意味も理解できるようになっていったのです。

----- 勉強への影響はなかったのでしょうか。

もともと教室以外で勉強するタイプではなかったので、部活のせいで勉強ができないと思ったことはありませんでした。私の場合、勉強といえば読書で、自分の専攻に関係するような雑誌や参考書を電車の移動時間中にたくさん読みました。例えばまず新聞を、ほとんどわからないのですが(笑)、何とか読んで、雑誌は『Asiaweek』とか、『アエラ』などを読みました。『アエラ』は一番好きな雑誌で、論文やレポートの作成に本当に役立ちました。また、クラスには帰国子女が多く、みんなすごく優しかったです。



女子空手部員たちと(右2人目)

例えば試験の前に先生がヒントをくれる時があって、私には答えがわからないのですが、みんなはその答えを用意していて、後でノートを貸してくれました。

講義は初めから理解できましたか?

まったくダメでした(笑)。1年生の時は本当に大変で、最初から最後まで先生が何を言っているのか全然わからない授業もありました。ですからこれは無理だと思った授業は早いうちに諦めました。そして2年生になった時に、履修登録の前に先生のところに行って、「自分は留学生なので日本語が分からない時もありますが、先生の授業を受けることについてどう思いますか」と聞くようにしました。すると、先生によっては「私の教えているのはこういうもので、あなたにとってはすごく難しいので止めたほうがいい」と言われることもあり、そういった授業は初めからとらないようにした

んです。

それでも必修科目は受けないといけませんから、授業が終わったらすぐ先生のところに行って、わからなかった所を聞くようにしました。

とにかく教室で、できるだけ覚える努力 をしました。そうすると、試験の前に少し 復習するだけですぐに思い出せますから。

―― 体育会系の部活というのは日本人学生でも厳しいと思いますが、辞めようと思ったことはなかったのですか?

私はYWCAにある「留学生の母親運動」のお世話になっていて、ホストファミリーを紹介してもらったり、交流会に参加したりしていました。そこで知り合った留学生たちから「部活なんかやっていたら留学生として日本を楽しむことができないよ!」と言われて、確かにその通りだなと思って、いろいろ考えたんですね。それで1年生が終わる頃、空手は続けたいけどやはり諦め

ようと決心して、監督に電話をしたことがありました。そして「空手部を止めさせていただきたいんですけど」と言ったら、監督が「どうして?」と聞くので、とっさに「勉強の時間がなくてきついんです」と答えたんです。すると監督は「スービーが勉強したいのなら、遅れてくればいいじゃないか。もし授業を優先して、来られない時間があれば

来なくてもいいよ」って。結局「はいわかりました。続けます」と答えるしかありませんでした(笑)。

3年生になる時には、インターハイに出場経験のある女子部員が入部してきて女子の後輩が3人になり、部活に対する取組み方も変わっていきました。気がついたら授業よりも部活が優先になっていました(笑)。同級生からも「スービー、これから女子部を作るのでその主将として責任を持たないといけない。下級生に弱い所を見せたらいけないよ」と言われ、"跳べなくても跳ぶ、走れなくても走る"という感じでがんばりました(笑)。2年生からはアルバイトもはじめていたので、卒業するまでの睡眠時間は毎日平均4-5時間でしたね。

当時は円高が急激に進んだ時で、仕送り のリンギットも当初の7割とか6割の価値



96年3月、卒業式の日

になっていましたし、部活動は非常にお金 がかかるので、足りない分は自分でやりく りしようと思ったんです。

でもただお金を稼ぐためのバイトではな く、何か勉強できることをやってみたいと 思い、横浜の高級日本食レストランで働き ました。そこでも店長や板長さんに親切に していただき、接客はもちろん季節によっ てなぜ料理にこの葉っぱを置くのかとか、 前菜はどうやって片づけるのかとか、お新 香の漬け方も学びましたし、とても勉強に なり面白かった。

宴席でどこに誰が座るかといったことも 学びましたから、帰国後就職して日本の VIP のお客様を迎えた時も、どこにどうい う順序で座ってもらえばいいのかがすぐに わかるんです。

また企業の偉い方がよく社員を連れてお 店を利用されたので、その時耳に入ってく るお話を頭の中にメモすることもよくあり ました。その中である社長さんが話した「社 員によく仕事をしてもらう為に大切なこと は、給与を上げることではなく、社員の働 きやすい環境を作ること」という言葉は、 いま私が部下と接するにあたって大切にし ていることです。

―― 日本で就職はしなかったんですね。

就職活動は日本でしましたが、マレーシ アでの採用という条件で探しました。とに かく4年間頑張り過ぎるほどがんばって、 少し疲れてしまったというか、卒業後はす

ぐに帰国したいという気持ちが強かったで すね。そして、10社に履歴書を出して、8 社から合格をいただき、その中から SONY に入社したんです。後で考えてみたら1年 でも日本に残って社会体験をすべきだった と思いますが、当時はそこまで考える余裕 はありませんでした。

---- SONY では長く働いたのでしょう か。

私は大学4年生の時、神奈川県の国際交 流プログラムのお手伝いをしていて、市民 ホールなどでマレーシアのことを紹介した り、地域の夏祭りなどに参加したりしてい ました。そうした関係で神奈川県庁からペ ナン州と神奈川県の交流を図るためのフレ ンドシップメッセンジャーに任命していた だいたんです。でも帰国後どんな活動をす ればいいのかわからなくて、たまたま祖父 のお葬式で祖父の友人だったペナン州の首 席大臣と知合う機会があり、協力をお願い したました。すると、翌日彼のオフィスか ら電話があって、面接をしたいと言われた んですね。私はてっきり国際交流のことに ついて詳しく聞きたいのかと思ったのです が、行ってみると仕事の面接だったんです。 大臣は「あなたは購買部にいるけど専門は 国際政治経済だし、ゼミも中小企業の育成 なんだから、うちで働かないかい」と。首 席大臣から直接誘われることなんてありま せんから、その場で「はい」と答えてしま いました(笑)。そのため SONY には、96

年の4月に入社したのですが、10月にはマレーシアペナン州開発公社に転職しました。

―― どんなお仕事の内容 だったのでしょうか。

ペナン州開発公社での仕事 はペナンへの投資誘致活動と 進出してきた日系および台湾 企業のサポートで、企業が進 出後の様々な相談に対応しま

した。そして、2003年には州政府の観光 局に移動になりました。中国マーケットに 入るために中国語ができる人材が必要とさ れたからです。マレーシアの政府機関のス タッフはほとんどがマレー系の方たちで、 中国語や日本語が出来る人はあまりいませ ん。ですので、自分の部署以外からも仕事 がどんどん来て、どんどん引き受けないと いけないという状態でした。

そして 2008 年には北マレーシア経済開発 公社に転職しました。そこはペナン州を含 め、北マレーシア地域への投資誘致活動と 進出してきた企業のサポートを行っており、 企業が進出後の様々な相談に対応していま す。私は日本で言う総務課のような部署で 働いています。ありとあらゆることをやら なければいけないという感じです。

特に北マレーシアに投資している会社へ のサポートをしていて、外資か現地企業か は関係なくサポートをしています。具体的



ゼミの先生、仲間達との同窓会(2014年1月)

にはマーケティングや資金の問題についてアドバイスをしたり、コンサルティングをしたり、様々な企業育成と促進プログラムを提供したりですね。中小企業の多くは今どんな問題を抱えていているか聞き、次のステージに上がるにはどういう方法があるのかといったことについて、様々な提案を行うこともあります。大きな多国籍企業の場合は経営に関する問題というより、社員が足りないとか、リストラで空いた工場をどう使えばいいのかといった相談が多いですね。

――― ここ十数年で進出する日系企業の傾向に変化などはありますか?

昔は日本企業が海外で投資をしたいといった場合、ほとんどが出資比率 100 パーセントを希望したのですが、最近は現地の提携先を探したいといったものに変わって

きています。また、タイの水害や日本の震災の影響で Just in time から、Just in case に変わってきました。2年ほど前からは、中国で大きな投資をしている企業が様々な問題から東南アジアを第三拠点の候補として考えているという相談が増えています。

業種については、10年前は電子・電機の会社が多かったのですが、それが変わってきて、今はロジスティックとか農業とか、ちょっと違う物が入ってきたなと思います。電子・電機も、電子部品そのものではなくて、高付加価値のもの、例えばLEDライトとか、ソーラーとか、エアロスペースなどですね。またメディカルデバイスや農業技術に関する機械なども近年増えてきています。

これらの一部は日本では新しい物ではありませんが、東南アジアではこれから発展する要素がありますので、AEC(ASEAN 経済共同体)を活用してマーケットに入っていこうという企業もあります。

こうした企業をマレーシアでは歓迎しま すから、彼等の不安を解消するための様々 な説明を私どもが行っています。

――― 今振り返られて、他国に行かず日本 に留学して良かったですか。

正しい選択をしたと思っています。もし 私が日本に来なくて別の国に行っていた ら、今のようにたくさんの仕事に恵まれる ことはなかったと思います。特に政府の機 関にはほとんど日本語スピーカーがいませ んから。また、もし私が空手部を1年生で辞めていたら、今の私にはなれていなかったと思います。部活をしたことは今の私にすごく大きい影響を与えています。私は今もプライベートでよく日本に来ますが、それは部活を通じてたくさんの仲間と深い繋がりが出来たからです。時間を超えて、ずっと昔のOBやずっと下の世代の後輩とも繋がりができて、公私を問わず思わぬところでお世話になることもあるんです。

また、ものすごく精神的に強くなったと思います。政府の機関での仕事というのは、ボスはみんな政治家なので、予定が急に変更になったり、夜中に突然資料を作れという電話が入ったりします。例えば、イベントのため時間をかけて段取りを整えても、開始直後に「全部変えてくれ」なんていうこともあるわけです。そういう時、みんなはパニックになってしまうのですが、私は平然と立ち向かえます。みんなに「あなたは冷静すぎるよ」と言われるんですけど、そういう上司の無理難題をネガティブに捕えず対応できるのは部活のおかげですね。先輩の言うことに「できない」とは言えませんから(笑)。

最近は facebook などの SNS のおかげで、 しばらく連絡をとっていなかったゼミの仲間達とも頻繁に連絡をとるようになりました。みんなそれぞれの企業で活躍していますから、彼等から日本の新鮮な情報を得ることが出来る。どこにいても、昔の仲間達と繋がっていられるというのは本当に素晴らしいことだと思います。 ―― 日本の経済力が落ちたと言われて久 しいのですが、マレーシア人の留学先とし ての魅力はどうなのでしょう。

今、アジアでは韓国や中国の経済が成長していますが、日本ではまだまだ新しい技術が次々と生れていて、日本のアドバンテージは大きいと思います。中国語には「危機の時ほど機会がある」という諺がありますが、今、日本は景気が悪いと言われている時だからこそ、機会もたくさんあるのではないでしょうか。中小企業のチャンスはまさに今ですし、大企業も長い歴史から来るしがらみから抜け出て、新しい方向に舵を切れるチャンスなのだと思います。そしてこうした日本企業の変化、グローバル化はマレーシア人にとっても大きなチャンスとなります。

アジアの他の国の企業はマレーシアに投資をするといってもなかなか本当の技術移転は行いません。しかし日本企業の場合は技術移転をすると言ったら必ずしてくれますから、私たちの信用度も違います。ですから、最近は日本への留学の動機も、以前の「日本の技術を学びたい」というものから、「日本人と一緒に何かをやりたい」というものへと変わってきています。日本はマレーシアから距離も近くビジネスパートナーとして最適なんです。マレーシア人は英語、更に中華系の人は中国語もできますから、加えて日本語を学ぶというのはその後の人生において必ず大きな武器になると思っています。

---- 後輩に対して、何かアドバイスはあ りますか。

開発公社で働き始めた時、日本企業の誘致活動で日本語でプレゼンテーションを行うのですが、その資料=スライド作りが大変で、どんな日本語をどのように使えばいいのかが分からないんです。今のようにインターネットもありませんから、簡単に調べることもできなくて、仲の良かった ABK 日本語学校のスタッフにいつも FAX を送って、日本語の校正を助けてもらっていました。

だから私はいつも後輩に、卒業後最低でも1年間は日本で働いて、社会経験を積みなさいと言っているんです。ビジネスマナーや人間関係、日本人の仕事の進め方というのは、いくら大学でがんばっても、学べるものではありません。どんなに優秀な成績で大学を卒業した人でも、帰国して日系企業に就職して、いきなり日本人にビジネスレターを書けと言われるとみんなパニックになるんです。

また、職場ではただ働くのではなくて、 周りを良く見て聞くこと。何かあったとき に、日本人はどうやって対応し解決するの か。自分の仕事ではないから関係ないと目 を向けなかったら、成長できません。

―― 今日は貴重なお話をありがとうございました。

どういたしまして!!

気仙沼の復興 ~3年目を迎えて

栗原静子



2011年3月11の東日本大震災。東北地域に甚大な被害をもたらしたこの災害からの復興状況を昨年本誌(501号)にご寄稿いただいた宮城県気仙沼市在住の栗原さん(当協会(ASCA)会員)より、今回は震災後3年目を迎えた現地の状況についてご寄稿いただきましたので、ここにご紹介させていただきます。

2011.3.11 の大惨事の日から間もなく3年 目を迎えようとしています。昨年に引き続 き、当市、気仙沼の現状をお伝えしたいと 思います。

市内延べ41か所の一次仮置き場に集められていた211万トン以上の災害廃棄物や津波堆積物の処理はこの3月で完了予定となりました。本県以外にも受け入れてくれた他の自治体、民間のご理解、ご協力があってこそ可能でした。市の中心部は土地の整理・整備事業が決まり、居住地、商業地、水産加工施設、公園整備予定地等が区分けされました。これで大まかな将来像が見えてきました。

市の復興計画に基づいた重点事業は前回 記述の通り、194の事業内容から成ってい ます。直近の平成25年10月の進捗状況は、 完了:12事業/(内容・速度面で)計画 を上回る:4/計画通り:89/課題がある が前進:83/問題あり:6、となっています。1年前と比べ「完了」が3倍に増え、「問題あり」が3分の1に減ったのは当然とも思えますが、「課題があるが前進」と「問題あり」を合わせると半分近くがまだ途上であり、スピード感が得られていない気がします。

具体例では、被災した集落を中心に集団移転を予定している戸数は971戸で、大部分の地区は平成28年3月までに造成を終え、引き渡しを行い、残りの地区も平成30年3月迄に引き渡しを完了する計画です。また、災害公営住宅は2,200戸が予定され、市街地や郊外に整備されて平成28年3月末までに入居完了予定とされています。

嵩上げは土地区画整理事業や各整備事業に基づいて、盛り土の高さに依ってゾーン毎に造成工事、基盤整備が行われ、本年6月からは仮換地指定が始まる予定です。嵩上げは国の制度に合致しないと公費投入は



気仙沼湾の様子: 中央奥の河口付近 は水産加工施設等が 予定されてい る。右は2012年12月下旬撮影



難しく、民有地は所在場所に依って制約を受けるようです。防潮堤も難しい問題で、建設位置や高さ、海浜資源、景観…等々、住民間でも様々な意見があり、目安としている来年度の合意は厳しそうです。ただ、先日 4.1 mの防潮堤に 1 mの可動式ゲートを設ける案を県が提示しており、一番反発

が激しい気仙沼内湾地区がどう判断するか に依って、他地域にも影響が出るかも知れ ません。

以上の土地区画整理事業、集団移転や公 営住宅、漁港や魚市場の整備等は、平成25 年度までは計画、認可、交渉、説明等に時



湾内:中央の空き地は以前市一番の繁華街。 下の写真はズームアップしたところ



船着き場付近:海水の流入防止の為、嵩 上げが行われている。下は昨年1月下旬 撮影



間が宛がわれ、本格的起動は 26,27 年度がほとんどです。特に 4年目に 入る今年は各事業が軒並み実行され る計画になっており、復興が加速さ れる事が期待されます。

隣接する岩手県では三陸鉄道が4 月6日に全線復旧する見込みですが、 気仙沼から三陸鉄道接続の盛駅まで の大船渡線は不通のまま、海岸線を 走る仙台・気仙沼間の気仙沼線も費 用面で難色有りとの事で復旧見込み は立っていません。三陸鉄道の「あ まちゃん」効果が羨ましく感じられ ます。

陸に乗り上げられ、市のシンボル 的存在だったマグロ運搬船第18共 徳丸も撤去され公園・緑地に変わる 予定です。共徳丸に関しては保存・ 解体の各意見がありましたが、これ で市がアピールできる遺構が無くな り、観光客も減少しているようです。 撤去直後に国が震災遺構への補助金 を表明した事は市民に複雑な気持ち を与えました。

身近な嬉しいニュースは気仙沼漁 業の要と言える生鮮カツオの水揚げ が、昨年水揚げ量で22,419トン、金 額で70億円を達成し、17年間連続 1位を保ちました。まだまだ震災前 に比べると半分強ですが、関係者の





共徳丸撤去後: 現在嵩上げ中。 公園・緑地に変わる予定。上は 昨年の1月下旬撮影

努力と熱意そして他県からの応援が功を奏 しています。

また、つい最近、選抜春の高校野球に当地の東陵高校が選ばれました。校舎こそ被害は無かったものの、夜空を焦がした大火災のあった地区で、仮設住宅から通う選手もいます。「野球できる有難さに感謝している」と言う彼らの健闘を祈りたい。更に2020年の東京五輪開催に絡んで時の人となった当地出身の佐藤真海さんやロンドン大会でフェンシング銀メダルの千田健太さんがおり、今後も大いに活躍を期待しています。

丸3年ともなると、ボランティアの人数 もかなり減ってきています。そんな中、他 の自治体からの応援は随所に見られ、職員 の派遣も200名を超えています。本当に有 難く一市民として感謝に堪えません。それ でも、本格的な復旧・復興の年になる今年 はまだまだ人手不足だそうです。高台に在る我家の周辺にも新築の家々が多くなってきました。市内数か所の仮設復興屋台村の店舗も少しずつ各自の新装開店へ向けて動いています。もう3年…受け身ではいられない、立ち上がる意気を感じます。今年はいわば机上から実践へ動き出す年になりそうで、徐々に私達の目に見える復旧・復興が成されるよう願っています。

今も行方不明者 234 名の捜索が続けられ、まだ先は長いけれど、幾度も津波に襲われて、それでも海からの恵みにも感謝し、海と生活して来た気仙沼の「海と生きる!」を合言葉に進んで行きます。引き続き皆様の被災地へのご関心、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

栗原 静子 2014年2月12日記

泰日工業大学(TNI)奮闘記

4 私も成長しなくちゃ

高坂千夏子

開学当初から日本語の授業に携わって 7年。こんなに長い間、同じ組織にいた ことは、一度もない。小学校だって6年 間しかお世話にならなかったのだから。 なぜ?それはもちろん、面白いからだ。

私は、工学部・経営学部・情報技術学部の全学部、選択科目も含めると、全コース、全学年の学生たちを教える機会に恵まれている。アニオタは増えてはいるが、大学全体を見ると日本語にはそれほど興味を持っていない人たちも多い。座学や「覚える」ということにも慣れていなかったり…なんていう人たちもいたりする。「他に合格しなかったから」「親が行けといったから」などという理由でTNIに来ました、という人も。そういう人たちに日本語が教えられるなんて。面白くないわけがない。

彼らと過ごしていると、色々なことを考えさせられる。私は「日本語を教える日本人」である前に、「人間」なのだ、とつくづく思う。彼らの抱える問題について話したり、政治の話になったり…。学校という組織で出てくる学生の「でき

る」「できない」ってなんだろうか。教師は、人間の能力の一部の出来不出来のみを見て判断していないか…。

卒業生を見ると、「しょっちゅう補習に来ていた」という学生が、日系企業で日々、問題に直面しながら乗り越え、信頼され、生き生きと活躍していたりする。逆に、「優等生」で「手のかからない」学生と教師に思われていた人が、却って…。そんな状況を見るにつけ、「一体学校教育ってなんだろう…」と思うのだ。「日本語ができる」学生のプレゼン。なんだか、どこかで聞いたことがあるようなきれいな「意見」ばかり並べて、全然こちらの心に響いてこなかったり。逆に、日本語は言葉を並べるだけのレベルでも、きちんと深く考えている学生の話は、聞く人の心をつかんだりする。

そう、彼らからは学ぶことばかり。人間って本当に一人ひとり違うし、色々な側面を持っている。彼らをよく見て、彼らに合う授業をしなければならない。毎日が学び。つくづく思う。教師の世界って、なんて狭いんだろう。







写真は、自動車工学のクラス の2年生前期で行った「問題 解決」についてのプレゼンテー ションです。

このプレゼンを行うために、 担当教師は、授業外で学生と 顔を突き合わせて意見を交換 し合い、最終的に学生たちが つくりあげて発表します。

発表前日夜遅くまで作成した パワーポイントの日本語の間 違いはご愛嬌。

学生たちは、このプレゼン発表までの過程で、「問題意識」「自分の意見」「作り上げるプロセス」「チームワーク」「人に伝えること」など、色々なことを学びます。同時に教師は、学生の持っている「深さ」を学びます。

高坂千夏子(こうさかちかこ)

泰日工業大学(TNI)教養学部日本語講師。ドイツ、タイ・スラーターニー県を経て、2001年より(財)アジア学生文化協会にて日本語講師。2004年よりバンコク。泰日経済技術振興協会を経て、2007年より現職。

ボランティア日本語教室はこんなところ!

ABK 留学生友の会 日本語クラブ

ティーブレイク中、みんなで「蛍の光」を合唱中

地域に暮らす日本人が主に同じ地域に暮らす外国人に無償で日本語を教えるボランティア日本語教室は、日本語教育の場というよりは、同じ地域に暮らす日本人と外国人の触れ合いの場と言った方がいいかもしれない。もちろん、本格的に教科書を使って習うことも、単にお喋りをして過ごすことも、利用方法は参加者の自由だ。文京多文化ネット(ぶんたねっと)によるとアジア文化会館がある文京区に登録されたボランティア教室は2014年2月現在9教室ある。そのうちの二つがABK留学生友の会が主催する日本語クラブの火曜会と木曜会だ。両会とも、参加費はお茶菓子代として200円。原則として日本人と外国人学習者の1対1によるコミュニケーションで授業を行っている。時間は2時間だが、合間にはティー・ブレイクが用意されており、全員でゲームや歌を楽しむ。今回、それぞれの教室にお邪魔して会の様子を拝見させていただいた。

ABK 日本語クラブ 火曜会

2003 年の 12 月にスタートした ABK 日本語クラブ火曜会。登録されているボランティアは 31 人だが、実際、会に訪れる人数は 15 人ほどと、その日の学習者数によっては全てのグループがマンツーマンにはならないこともあるという。

スタッフの及川俊男さんによると、火曜会が目指すのは「日本語学習のお手伝いの他、訪れる外国人に日本の文化や日本人の考え方を理解してもらうこと」。2か月に一回、こうした部分の意識の共通化や、意見交換を行うためのスタッフミーティングが開かれている。



火曜会代表の畠山さんとスタッフの及川さん

また、ボランティアをする上でスタッフが 大切にしていることは、学習者との距離感を なくす努力をするということ。

「外国人参加者とは年が離れている場合が 多いのですが、常に私たちは平等だという意 識で接しています」と、及川さん。学生が恐縮して話しづらくなることがないよう、友人として気軽に話せるよう接することを心がけているという。

及川さん自身が日本語ボランティアを行っていて気がついたことは、漢字圏文化の人はコミュニケーションを取りやすいということだ。しかし一方で、最近は中国や韓国の人が減り、非漢字圏の東南アジアの方々が増えているため、漢字を使わず彼等といかにコミュニケーションをとっていくか、工夫し配慮を

する必要を感じているという。

また、一時に比べて社会人の学習者は減っ たというが、及川さんは彼等との会話には若 い学習者とは違った楽しさを感じている。

「自国での経験が豊富ですからね。学習者 の方にたくさん喋ってもらうことが大事なん ですが、その時の話題性ということでは社会 人の方の話は聞いていて面白いですね!

ネットでは知ることが出来ない外国人の生 の生活体験。それを聞けるのがボランティア の一つの楽しみにもなっている。

只今学習中



左から杉浦さん、高さん(中国)、陽さん(台湾)。以前から ABK に関心を持っていた杉浦さんは掲示板に貼られたボランティア募集の広告を見て参加。学習者と友人になり、クラブ外の時間も交流することが楽しみだという。大学院を修了し今年の4月から就職が決まっているという高さんは、自由に話せる雰囲気があるこの場が楽しいと話してくれた。また現在 ABK 日本語学校生の陽さんは将来大学院進学希望。放課後の時間を有効に使って生の日本語を体験できる日本語クラブは、とてもありがたい存在だという。

左から金さん(韓国)、鹿間さん。 学生時代バックパッカーだった鹿間さんは渡航先の海外で現地の人に助けられた代わりに、日本に住む外国人の為に何かを、と考え参加。学習者から異国の様々な話が聞ける日本語クラブは自らにとっても学びの場だという。 金さんは息子さんが東大に留学しているため、たまに様子を見に来日。その間いくつかのボランティア教室に参加し、日本語を学んでいる。こうした場がいろいろな所にある日本は本当に素晴らしい国だと思うと嬉しそうに話していた。





左から髙橋さん、クォンさん(韓国)。高橋さんは、ハワイの大学院に留学したことがあるそうで、その時外国人として現地の人々にお世話になった恩返しにと参加。まだボランティア駆け出しだが、国籍を超えた人との触れ合いがあることを楽しんでいるという。日本人の御主人を持つクォンさんは昨年12月に来日。4月からABK日本語学校に入学予定だという。実際の日本人から教科書だけでは学べない日本の文化が学べるところが日本語クラブの良い所だと話してくれた

左から丸山さん、ケンニーさん(香港)、李さん(台湾)。丸 山さんは学習者に接して、改めて自分が日本語をあまり知ら なかったということを実感する反面、学習者から日本の今の 流行りのアニメを教えてもらうなど、新しい発見ができるこ とを楽しんでいるという。日本語学校生の李さんは日本人と 話す機会を求めて参加。日本人と一対一で話す経験があまり ないため、毎回良い緊張感を味わうことができるという。や はり日本語学校生のケンニーさんは日本語の発音を向上する ため参加。年齢層の幅広い様々なボランティアと話すことで 視野が広がると話してくれた。



ABK 日本語クラブ 木曜会

アジア文化会館の教室を利用し、活動を 行う ABK 日本語クラブ木曜会は 2003 年 3 月に発足。現在代表を務める稲葉充孝さん は設立当初のメンバーだった奥様が参加で きなくなったことをきっかけに、その代わ りのような形で2009年の5月からスタッ フとして参加することになったという。そ れ以前に7年間メキシコの子供たちを毎年 ホームステイで受入れていた関係もあり、 初めての日本語ボランティアという場へも 抵抗無く入っていけたそうだ。

木曜会の特徴は日本語学校の生徒が多い ということ。参加者の8割が日本語学校生 で残りが社会人や主婦等ということで、こ れは他のボランティア日本語教室と比べて 珍しいケースとのことだ。また、学生の在 籍校もお膝元の ABK よりなぜか他校の生徒 のほうが多いという。

その木曜会で稲葉さんをはじめ、スタッ フが外国人との会話の中で気をつけている ことは、宗教や政治に関わる話題について だ。稲葉さん曰く、「日本人の宗教観、例え ば出生参りは神社で、結婚式は教会で、お



木曜会代表の稲葉さん

葬式はお寺で・・などと話すとみなさんか なり興味を示して聞いてくれますが、例え ば個別の宗教に対する評価をするといった ことはしないようにしています」とのこと だ。

その木曜会の現在の悩みは慢性的なボラ ンティア不足だ。登録ボランティアは15 ~ 16 人だが毎週揃うのはそのうちの 10 人 ほどということで、外国人受講生がそれ以 上訪れる時にはコンセプトであるマンツー マン会話が成り立たなくなる。特に若手ボ ランティアスタッフは入れ替わりが激しく、 登録当初こそ続けて来てくれるものの、あ る時からぱたりと来なくなってしまうこと が多く、なかなか定着してくれないという。

現在は近所の図書館に案内を置いたり、 文京区が主催する多文化ネット(ぶんたねっと)で行われる日本語教授講習会の場など でPRをしたりして、新人ボランティアの 確保に力を入れているそうだ。 もう一つの重要な課題は学習者にいかに「次回も来よう」と思ってもらえるか。そのため毎月末のスタッフミーティングでは、中休みのティーブレイク中に獅子舞や、書き初めなど、実現こそまだだが、様々なアイディアが飛び交っているという。

只今学習中



左からレイさん(香港)、綿森さん。綿森さんは木曜会立上げ時からのメンバー。アメリカに留学当時、現地の方にお世話になったためリタイアしたら外国の人に何かお返しがしたいという気持ちから参加。若い人たちと話すこと、様々な国の人と付き合えること、外国の方達に喜んでもらえることが楽しいと話す。ABK日本語学校生のレイさんは、ほぼ毎回参加。教科書で学ぶのとは違い、日本人ボランティアから日本人の生活や文化の話が聞けて楽しいと話してくれた。

左から林さん(台湾)、遠山さん。遠山さんは教育委員会で外国人師弟と外国人通訳を結びつけるお仕事をしている関係でこのボランティアのことを知り参加。外国人の方がなぜ日本に興味を持ったのかといったことや、日本とは違う各国の教育制度を聞けることが勉強になるという。大学生の林さんは、もっと日本人と話したいという思いから参加。毎回違うボランティアと話すことで、日本と台湾の様々な違いを知ることが出来て有意義な時間を過ごせているという。





左から市川さん、クリシュナンさん(米)。インド系アメリカ人のクリシュナンさんは、米国での仕事をリタイア後、日本人である奥様とともに来日。御自宅がABKのすぐ近くということで、日本語クラブに参加している。教科書で学ぶよりも、楽しく日本語を覚えることができると楽しそうに話してくれた。大手旅行会社出身の市川さんは、時に英語力を生かして、まだ日本語が十分ではないクリシュナンさんと上手にコミュニケーションをとられていたのが印象的だった。

ABK日本語クラブ ◆場所:アジア文化会館(ABK)本館2階129教室(文京区本駒込2-12-13)

※ 都営三田線「千石」駅徒歩3分 ◆時間:毎週火曜・木曜 午後6時30分~午後8時30分(祝日除く)

◆問合せ: mail:mokuyokai@hotmail.com URL: http://blogs.yahoo.co.jp/abkmokuyokai



2014年1月17日(土)、パソナグローバル事業部が主催する留学生のための合同企業説明会「JOB博」が東京のパソナグループ本部(千代田区)で開催された。パソナグループ広報室によると、当日は22社の有名企業が参加し、およそ1000名の留学生(および既卒の外国人)が会場を訪れた。留学生の国籍は中国、韓国、台湾に加え、ベトナム、インドネシア、マレーシアなど ASEAN からの留学生も多く、合計で約40か国の留学生が参加したとのことだ。また、企業側に目を移すと、今注目のLINE(株)が初めて参加するなど、IT・通信系企業の参加が増えているのが今年の特徴だという。

会場を歩いて、学生や企業担当者の声を 聴いてみた。

文系学部4年生の台湾人女子学生は、一社から内定をもらったものの、その企業の雑な説明会の印象がぬぐい去れず、内定を辞退して今回の説明会に参加したという。そして改めて好印象を持ったいくつかの企業にエントリーしたということだ。

説明会は単に企業の事業内容や待遇について聞くだけでなく、学生がその企業に初

めて触れ、印象を得る重要な場になっている。少し大袈裟だが説明にあたる人事担当者は留学生にとって、その企業のスタッフを象徴した人物であると言えるのだろう。もちろん企業側もそれは十分に理解しており、当日はフレッシュな若手スタッフが、親切、丁寧にわかりやすい対応を行っていたのが印象的だった。

留学生人材ということで、求められる語



留学生に、日本の就職活動の事情を知ってもらい、エントリーシートの書き方や、面接等の細かなフォローアップができることが、このパソナ JOB 博のポイントの一つ

★企業セミナーの模様

★ Global Rookies Cafe (母国帰国・日本就職相談デスク、履歴書・エントリーシート添削デスク)



学力についても気になるところだが、営業職か事務職を希望しているという、別の文系学部台湾人女子学生によると、中国語人材を求めている企業の場合、大陸の人を好む傾向があり、台湾人は不利にも感じる、と話していた。

一方で、大陸出身の理系大学院1年生の中国人男子学生は、各企業の留学生大歓迎のムードを知ることができて、来て良かったと喜ぶとともに、中国語が出来ることはあまりアドバンテージにはならないと感じたそうだ。それよりも、日本語力の重要性を感じ、もっと自分の日本語レベルをアップさせないといけないと語っていた。

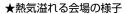
実際、今回22社の採用条件面に記載された「必要な語学」を見ると、理系文系を問わず14社が日常会話レベル以上の日本語力を挙げており、そのうちのほとんどがビジネスレベルもしくは日本語能力試験

N1 レベルの日本語力を求めている。一方で英語力を必須と明記しているところは少数だ。

社内の公用語を英語にする企業が注目を 浴び、これがいかにもトレンドであるかの ような報道が昨今目立つが、実際には多く の日本企業が留学生に対して英語力よりも 高度な日本語力を求めているということだ ろう。

光学フィルムや半導体関連材料などを製造する大手部材メーカーの場合、グローバル化を念頭にした留学生を積極採用し出したのはここ4年で、現在は出身地域にこだわりなく、採用人数のおそよ2割(5~7人)を留学生にする方針を立てているという。同社でも日本語力については日常会話が十分であることを条件に挙げているが、英語力については条件を設けておらず、入社後の研修などで伸ばしてもらえれば構わないと担当者は話していた。

★企業ブースの様子





日系企業は、大学3年生の採用を希望しているが、実際就職活動中の留学生は4年生や既卒である場合もあり、まだまだお互いのミスマッチが見受けられるとのこと

ほとんどの企業が母語や出身地域にこだ わらず、チャレンジ精神旺盛で優秀な人材 を求めていると謳っている一方で、特定の 地域の学生との出会いを期待して参加して いるという企業もある。

ここ2年間で留学生の採用を積極化しているというある産業ガスメーカーは、海外での売り上げを現在の30%から6年後には50%に引き上げるため、特に力を入れている東南アジア・・・ベトナムやインドネシア、フィリピン、ミャンマーなどの人材確保に力を入れているそうだ。もっとも担当者曰く、「会場を訪れる留学生の7ー8割が中華系の学生なのでは」ということで、出会いが少ないのが現状だ。

現在の日本の在籍留学生の出身地域を考えた場合、これは致し方無いことではあるが、ここ数年ベトナム出身学生の比率が急速に伸びていたりと、2-3年後には、この状況が変わることも予想される。

今後、多くの日系企業による市場開拓が 期待されている地域の留学生にとっては、 売り手市場となる可能性もあるわけだが、 留学生受入れ機関が相乗効果としてこうし た日本での就職での優位性をアピールすれ ば、新たな地域における留学生獲得への道 も開けるのではないだろうか。

最近は学生の就活といえば、企業選びからエントリーシートの提出まで、インターネットで行うのが一般的となっているが、その場合、どうしても知名度や関心の高い企業や業界に目が行きがちとなる。一般消費者が知らない所でトップクラスの世界シェアを得ている日系企業は多数あり、そうした企業と出会い、その場で担当者に話を聞ける合同企業説明会は、留学生にとって、最高の就活の場、と言ってもいいかもしれない。



奨学金情報

■ 佐川留学生奨学財団 私費外国人留学生奨学生

- ②他の奨学金を受けていない者。
- こくまいりかい しんぜん かんしん も とうざいだん こうりゅう ③国際理解と親善に関心を持ち当財団の交流 ちっとう どうまくでき こくかい いっとう まっき ないかい 活動に積極的に参加する意思のある者
- ●**給付金額**:月額 10 万円
- ●給付期間: 2014 年 4 月から 2016 年 3 月
- ●募集人数:約 16 名
- たまりほとう たいがく してい から まつがた ここ 大学が 指定する日までに在学す たいがく まていしゅう る大学宛に提出しなければならない
- ●募集26879 : 2014年4月17日(木)(当日 計印有効)
- ●団体連絡先:公益財団法人 佐川留学生奨 がはからいではまた。公益財団法人 佐川留学生奨 がはからいでもまた。 学財団 事務局

Tel 075-255-9310 Fax 075-255-9311

まさひがらすしょうがくかい がいこくじんりゅうがくせいしょうがくせい していこうせい 相子奨学会 外国人留学生奨学生 ※指定校制

 こうほうせい がくじゅつゆうしゅう しんたいきょうけん ちの 行方正、学術優秀、身体強健である者 ④学 じった こんなん みと ちの 支弁が困難と認められる者

●**給付金額**:月額 10 万円

●募集人数: 12名(対象となる各国より3 か、 25 (対象となる各国より3 か、名ずつ採用予定)

●応募方法:大学が指定する日までに在学す

たいがくあて ていしゅっ る大学宛に提出しなければならない

●**募集締切**:3月(大学によって異る)

●問合せ先:大学の担当窓口

■ 日本国際教育支援協会 ドコモ留学生奨学金

●対象: ① 2014年4月入学ときで、わが国の にかが象: ① 2014年4月入学者で、わが国の 大学に 設置される大学院修士課程 (博士前期 課程) 1年次に在籍する私費外国人留学生で、 がのいずれかの部門を専攻する者 (1)通信技術、情報処理技術及びこれに関連する部門を 専攻する者 (2)人文・社会科学等の部門を専攻する者で、研究に「通信や情報処理」が活 まかったまた。 ないがいないとこの部門を専攻する者で、研究に「通信や情報処理」が活 まりまたが、 ないがいると大学が認める者

②インド、インドネシア、韓国、カンボジア、シンガポール、スリランカ、タイ、台湾、中国(香港、マカオを含む)、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、東ティモール、フィリピン、ブータン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、モルディブ、モンゴル、ラオスのいずれかの国・地域からの留

が学生 3 留学の目的なび計画が明確で、修学 効果が期待できる者 ④日本語でのコミュニケーションが可能な者 ⑤大学の長の推薦 を受けることができる者 ⑥ 2014 年 4 月 以降、他の奨学金を受ける予定のない者 ⑦ 真に経済的援助を必要とする者

●給付金額:月額 12 万円

●給付期間: 2014 年 4 月から 2016 年 3 月

●募集人数: 20 名

●応募方録: たいがく ●応募方法: 大学が指定する日までに在学す たいがます。 ていしゅっ る大学宛に提出しなければならない

●推薦締切: 2014年5月16日(金)(必着)
といめり
・ こうえきざいだんほうじんにほんこくさいきょういくしえん
・ 問合せ先: 公益財団法人日本国際教育支援
まさかい じぎょうぶ こくさいこうりゅうか
協会 事業部 国際交流課 Tel 03-5454-5274

e-mail ix@jees.or.jp

せいほうしょうがくざいだん せいほうしょうがくきん 青峰奨学財団 青峰奨学金

●対象: ①韓国籍を有し、日本の大学2年生 いじょうに在学する者で、成績優秀、品行きせい あり、かつ学業を成就するために経済的援助 を必要とする者

②他の奨学金を受けていない者

●給付金額:学部生:月額5万円、

大学院生:月額7万円

●給付期間:最長2年(審査により延長も可)

●募集人数:11名

●応募方法:必要書類を財団まで郵送する
●中込期間: 2014 年 4 月 10 日 ~ 4 月 24

日(当日消印有効)

●問合せ先:青峰奨学財団 奨学生採用係

URL http://www.seihou.org/index.html

イベント情報

- ぶんきょうく こくさいこうりゅう - **文京区 国際交流フェスタ」のご案内** - < 2014 年 3 月 15 日(土)>

●内 容: 物版コーナー(アジアの飲み物、他)、情報コーナー(アジア学生文化協会、ベトナム子ども基金、他)、ステージパフォーマンス(トルコ音楽、バリ舞踊、バラライカ 演奏、キューバ音楽ライブ、他)、体験コーナー(生け花、伝統木版画、押し花、おりがみ、他)

●会 場: 文京シビックセンター 1 階・地下 1 階・地下 2 階

●時 間:10:00~17:00

●参 **加 費**:無料 (生け花、物販は除く)

●主 **催**:国際交流フェスタ実行委員会 文京区

●お問合せ: 文京区アカデミー推進課 Tel. 03-5803-1310

E-mail b250500@city.bunkyo.lg.jp

「**2014 年第1回 - 日本語能力試験」のご案内** ― < 2014 年 7 月 6 日 (日) >

●実施レベル: N 1 から N 5 までの全レベル*

●中込期間:4月1日(火)から4月30日(水)

②郵送による申込み → 受験案内を購入 (¥500)

4月から全国の主要書店で販売

●受験料:5,500円

□けんかいじょう ぜんこくしゅようとし
■試験会場:全国主要都市

●聞合せ先: 日本語能力試験受付センター Tel. 03-6686-2974

●主 でこうえきざいだんほうじん にほんこくさいきょういくしえんきょうかい 催:公益財団法人 日本国際教育支援協会(JEES) http://www.jees.or.jp/

 \times N1 幅広い場面で使われる日本語を理解することができる N2 日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語を理解することができる N3 日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる N3 日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる N5 基本的な日本語をある程度理解することができる N5 基本的な日本語をある程度理解することができる

Members

〈会費とご寄付の報告〉

2013年12月

賛助会員

 $(1 \square)$

佃 吉一

板橋区

正会員

 $(2\square)$

榊 正義/正子 港区

 $(1 \square)$

早乙女 和義/博子 品川区 堤 祐子 江東区 藤田 淑子 文京区 瀬尾 兼秀 北区 福井 道子 豊橋市 斎藤 伸子 豊橋市 勝山 桂香 千葉市 福本 一 船橋市

福本 一 船橋市 (社)東京都専修学校各種学校 協会 渋谷区

 鶴尾 能子
 横浜市

 堀 幸夫
 杉並区

 池野 朋彦/晶子
 横浜市

 菅谷 眞人
 千葉市

 三橋 隆資
 習志野市

 高木 桂子
 墨田区

田中 千佳子 江東区 香月 恵美子 川西市

新田 宜子 西東京市 古川 恵世 矢板市

林 登居/ひさ子八千代市川口 善行大田区中畠 正喜川崎市岩井 秀明川越市

 北林 保之
 中川郡

 伊藤 順
 安曇野市

 西田 祥子
 安城市

 工藤 幹雄
 文京区

 真利子 知之
 中野区

 岩井 秀生
 入間市

 井上 駿
 平塚市

 寺門 克郎
 習志野市

(有) プルミエ (アクア)

松戸市 富永 昭太郎 町田市 石渡 荘介 足立区 金野 隆光 柏市 堀 香奈美 横浜市 野村 美知子 佐倉市 給木 秀明 豊橋市 小原 正敏 土浦市 杉浦 貴和子 港区 高橋 雄造 港区 菊池 幸子 笠間市 佐々木 孝一 文京区 大杉 立 つくば市 中元 管根 西之表市 田中 洋一 柏市 安藤 哲牛 小金井市 小川 輝夫 上尾市 大益 牧雄 京丹後市 田守 智恵子 札幌市 外山 経子 八王子市 小林 浩 松戸市 福 壌二 横須賀市 (株) デリー 文京区 池田 俊二 横浜市 高柳 直正 北区 十屋 元子 千葉市 岩原 慶一 杉並区 中村 尚司 京都市

ご寄付

大越 英男仙台市太田 京子神戸市岩井 秀明川越市近藤 清子秩父市NPO 法人アジアの新しい風

世田谷区 金野 隆光 柏市 斎木 史 足立区 佐々木 孝一 文京区 上田 尚子 新宿区 東京第一友の会 思島 伊佐 玲子 下都賀郡 十屋 元子 千葉市 (株) デリー 文京区

2014年1月

正会員

 $(1 \square)$ 中原 和夫 那覇市 池森 亨介 宇都宮市 中曽根 信 中標津町 小川 巌 入間市 牧野 政子 宝飯郡 山本 仁 伊東市 工藤 博司 酒田市 曽根 文子 杉並区 田中 武雄/多美子 我孫子市 越谷市 渡辺 穣二 北星学園大学国際交流センター 札幌市

水戸アカデミー 水戸市

ご寄付

 中原 和夫
 那覇市

 川崎 依邦
 大阪市

 栗原 静子
 気仙沼市

 築山 淳子
 文京区

皆様の暖かい御支援に感 謝申上げます

ご入会とご寄付のお願い

当協会は、政府の補助金を受けていない純 民間運営の公益法人ですので、財源に限り があり、皆様方からお送りいただく会費、 寄付金は、本協会の活動を支える貴重な財 源となっています。何卒ご理解、ご協力を お願い致します。

協会のあらまし

名 称:財団法人アジア学生文化協会 ASIAN STUDENTS CULTURAL ASSOSIATION (ASCA)

所在地:東京都文京区本駒込2丁目12番地13号

代表者:理事長 小木曽 友

設 立:1957年(昭和32年)9月18日 故穂積五一氏創設

目 的:日本とアジア諸国の青年学生が共同生活を通じて、人間的和合と学術、文化および経済の交流をはかることにより、アジアの親善と世界の平和に貢献することを目的とする。

◇主な事業◇

- (1) 留学生宿舎の運営
- (2) 留学生日本語コースの運営(進学希望者向 けの日本語を中心とする教育)
- (3) 留学生に対する情報提供支援
- (4) アジア語学セミナー
- (5) 帰国留学生のアジア文化会館同窓会、(社) 日・タイ経済協力協会、ABK留学生友の 会との連携・協力

◇会費(年額)◇

正会員 1口 1万円 賛助会員 1口 5万円 特別会員 1口 10万円

会員には広報誌「アジアの友」が無料配布されます。また、広報誌購入だけを希望される方には、購読料年間3千円(学生2千円)でお送りしています。

本誌で広告してみませんか。

団体・企業を問わず、編集部へご相談 ください。

ABK講師陣による「日本語能力試験」対策本登場!





(N1、N2) 1890円 (N3、N4) 1785円 (N5) 1575円 著者:アジア学生文化協会日本語コース 発行:アスク出版

後記-

2013年10-11月号の「アジアの友」の題字が変わったことに気づかれた方はどのくらいいるだろうか。この題字は、当協会創設者の穂積五一先生の揮毫による。先生をよく知る元ABK在館留学生が来日の折、「アジアの友」の表紙は先生の揮毫の題字にぜひ戻して欲しいと、強い希望を残してゆかれたのに応じたものです。お礼の手紙が届きましたので、ここにご紹介いたします。

I am so happy to see the cover page with Hozumi Sensei's handwriting. The memory brought a tear to my eye. Thanks for your understanding and swift action. I believe that, change back to the original will make many of us with great satisfaction. I pray Hozumi Sensei's handwriting stays at the cover page forever. Blessings. 嚴 素華 (F)

マレーシア元留日学生協会南支部 (JAGAMSB) の主催で、昨年10月、マレーシア南部のジョホール州ジョホールバル市で開催された「盆踊り大会」は、延ベ三万人もの参加者を集めたとのことです。三万人も集めた「盆踊り大会」と聞いただけでも驚きましたが、準備に6カ月、計画策定、各方面の協力調整、資金集め等々、成功の裏側には実行員会のメンバー、協力者の情熱とご苦労の上に成り立っていることを改めて実感させられました。「日本留学生の帰国後のボランティア活躍の一端ですが実行員会のメンバーからレポートしていただくことができましたので、ご紹介させていただきます。 (F)

アジアの友 2014年2-3月号

2014年2月20日発行(通刊第507号)

年間購読(送料共) 3,000円(学生2,000円) 1部 500円(税込)

発 行 人 小 木 曽 友 編 集 アジアの友編集部

発 行 所 財団法人 アジア学生文化協会

東京都文京区本駒込2 - 12 - 13 (☎113-8642)

電話番号 : 03 - 3946 - 4121 ファクシミリ: 03 - 3946 - 7599 振替口座 : 00150 - 0 - 56754 E-mail:tomo@abk.or.jp

ホームページ: (http://www.abk.or.jp/)

published by ASIAN STUDENTS CULTURAL ASSOCIATION

(ASIA BUNKA KAIKAN)

2-12-13, Honkomagome, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8642, JAPAN \$\ +81-3-3946-4121 \$\ \mathrm{m}+81-3-3946-7599\$

Email: tomo@abk.or.jp

Home Page: http://www.abk.or.jp/

「アジアの友」の購読会員(年3,000円・学生2,000)にご入会下さい。振替用紙又は電話等にて。

7,RAD. 1955

学校法人 ABK 学館

ABK学館日本語学校

所 在 地 〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-12-12

電話番号 +81-3-6328-3428 F A X +81-3-6328-3393 U R L http://abk-college.com E-mail college@abk.or.jp



- 留学生の絆が作る日本語学校 -

ABK学館日本語学校(英語名称: ABK COLLGE) は1957年に設立された財団法人アジア学生文化協会で寮生活や日本語を学習した留学生、そして多くの関係者のご寄付と献身的な協力により、学校法人による日本語学校として2014年4月に開校します。当校には姉妹校のABK日本語コース(財団法人アジア学生文化協会)もあり各種協力を行います。



ABK COLLEGE (学校法人ABK学館 ABK学館日本語学校) 東京都認可日本語課程(大学院・専門学校・就職・文化体験等)

4月 1年コース	860時間/1年	入学検定料	20,000円
		入学金	80,000円
		授業料(施設・教材費含む)	620,000円

姉妹校 ABK日本語コース(財団法人アジア学生文化協会)

人 部科学省指定大学進学準備教育課程						
4月 1年コース	1086時間/1年	入学検定料		20,000円		
		入学金	大 学 進 学 日本語課程	80,000円		
			大学進学 準備課程	95,000円		
1586時間/1.5年		授業料		720,000円(1年)		
1.5年コース	1300時間/1.3牛	(施設・教材費含む)		1,080,000円(1.5年)		
デナル =112 0C42ま言初寺言原土野3 2 12 12 11 D.L. bee //-bl						

所在地:〒113-8642東京都文京区本駒込2-12-13 URL: http://abk.or.jp電話:+81-3-3946-2171 FAX:+81-3946-7599 E-mail: nihongo@abk.or.jp

